



河小だより

四日市市立河原田小学校
学校通信 第 11 号
令和6年11月5日(火)
文責 校長 福井 宣行



河原田小学校149周年

11月9日(土)は、河原田小学校の創立記念日です。河原田小学校は今年で創立から149年を迎えます。

三重県では、明治8年6月に、小学校の区域が定められ、当時川原田村においても正福寺を仮用して下等小学校としての「第二大学区三重県管下、第三十五番中学区内自三十九番至四十一番小学聯区川原田学校」を開校し、河原田小学校の礎が築かれました。

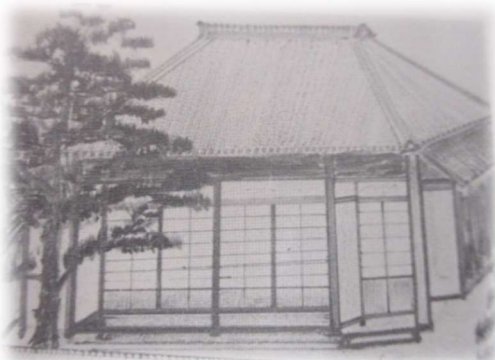
当時は、大治田学校、内堀学校、大河内学校(大治田・川尻・内堀の頭字をとって名付けたとの説)や良田学校もあり、学区の再編成や火災による廃校などを経て、明治18年2月12日より「川原田村」を「河原田村」と改めたことから、「河原田学校」となりました。

その後、時代や制度の変化とともに、河原田小学簡易科授業所、河原田尋常小学校、河原田尋常高等小学校、河原田国民学校と改名し、現在の「河原田小学校」へと変わりました。(「河原田小学校百年のあゆみ」参考)

簡単に説明しましたが、149年間その時々時代の背景が影響しています。その中であっても、先人諸氏の子どもの学びを止めさせない努力が、今につながっていることは、子どもたちに感じてほしいと思います。その遺志を継ぎ、次にバトンをつないでいく一人としての意識を持ってもらいたいと願います。

【開校当時の河原田学校】

【49年前(100周年時)の河原田小学校】

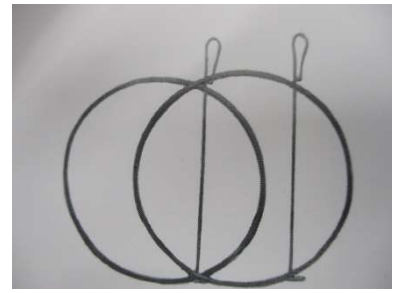
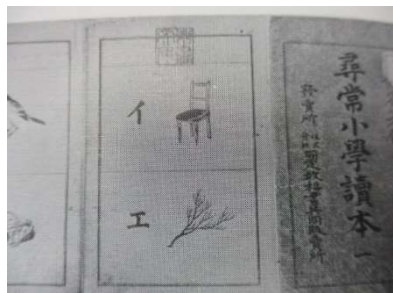


せっかくの機会ですので、おうちの方と一緒に、学校の今と昔を比べたり、自分の学校や住んでいる地域の歴史を調べたりしてみたいはいかがでしょうか。

【蒸気機関車(お茶山付近)】

【教科書】

【かなわ(むかしのあそび)】



家庭教育講座のご案内

11月11日(月)の15:30から、ご講師として金城学園大学国際情報学部の長谷川元洋教授をお迎えし、下記の通り、家庭教育講座を行います。

学校でも1人1台端末となったように、制限は一定あるものの子どもが自由にインターネットで情報を集めたり、第三者と関わったりすることができる世の中になってきています。家庭用のゲーム機でさえ、他人と共有したり会話できたりもします。

河原田小学校でも、LINEなどSNSに関わるトラブルを聞くようになってきています。学校では、人間関係や一般的な情報機器の使用上の留意点は指導できますが、家庭が管理しているスマホやゲーム機などについての時間制限や使用の可否など一律のルール設定は各家庭でしか行うことはできません。

今回の家庭教育講座では、そんなルール作りのヒントになる内容となっております。また、「スマホが欲しい」といった子どもの要求をどのように対応しているかなど、各家庭の情報交換もできる場も設定していると聞いています。

今後、避けては通れない子どもと情報機器(特にスマホ)の出会いとその使用上の留意点について、是非一緒に考えてみませんか。ご参加をお待ちしています。

家庭教育講座

日時： 令和6年11月11日(月) 15:30~17:00

場所： 四日市市立河原田小学校体育館

講師： 長谷川元洋 教授 (金城学園大学国際情報部国際情報科)

演題： 「家庭でできるメディアリテラシー教育」

学校生活アンケート

行事の多い2学期が始まって、はや2か月が経ち、「河小だより No.5」でも少し触れましたが、子どもが不安定になりやすいと言われる11月になりました。

そのような中、学校では学校生活アンケートを行い、調査結果をもとに特にいじめの対応を進めているところです。いじめ防止対策推進法では、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等一定の人間関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを含む。)であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。」と定義しています。定義に基づけば、子どもが「いやだ」と思ったことはいじめとなり、全ての子どもが被害者及び加害者の対象になります。

今回の調査の中で、以下のような報告を受けました。

その場にはいない子の悪口を言っていた友だちに対して、「そんなこと言うのはおかしいよ。」と一人の児童が声を上げ、それに対して、「その通りだと思う。ごめん。」と素直に認め反省していたということです。

調査の大きな目的は、このような子どもたちを育てていくものだと感じさせられました。法律の定義に基づけばいじめは必ず起こります。だからこそ、一人一人がおかしいことはおかしいと助言できる勇気、そしてその言葉を素直に受け入れる勇気を持ち、次に生かしていけるようにしてもらいたいと思います。学校も全力でサポートしていきます。